

憲法改正

で安倍首相とおおさか維新

参院選に突入する中、安倍首相は「憲法改正」の執念を捨ててはいない。参院で3分の2の議席を獲れば、衆参で改憲の発議条件が整うからだ。安倍首相が「期待」するのは、改憲容認派のおおさか維新の会。だが、そこには大きな壁が横たわっているのだ。

ノンフィクション作家

塩田潮

原点回帰で昨年10月に結党大会を開いたおおさか維新の会（以下、おおさか維新）が再出発後、初の国政選挙を迎える。

誰もが今も「事実上のトップリーダー」と見る橋下徹氏（現政策・法律顧問）は、昨年12月に大阪市長を任期満了で退任し、政界引退を実行中だ。7月の参院選は日本維新の会時代の2012年の総選挙以後、初の「橋下抜き」の国政選挙となる。

一方、在任中の憲法改正に強い意欲を示す安倍晋三首相は、「改憲の友党」のおおさか維新に期待を寄せ、参院選は自民党総裁任期満了の18年9月まで今夏の1回だけだ。国会で改憲の発議に必要な「総議員の3分の2」（162議席）の確保には、自民党だけでなく、おおさか維新の議席増が不可欠と考えている。

自民、公明両党と「改憲政党」のおおさか維新、日

これだけの壁

本のころを大切にすると合計は146で、3分の2に16足りない。「自民党とおおさか維新で16増」が安倍首相の参院選のひそかな目標ではないか。

参議院のおおさか維新の現勢力は7人（改選2、非改選5）だが、前回、日本維新の会は比例代表6、選挙区2の計8を獲得した。

今回は松井一郎代表（大阪府知事）と片山虎之助共同代表（参議院議員）のツートップ体制で臨む。片山氏は「前回を超えるのが目標」と話しているが、「橋下抜き」で可能かどうか。参院選を迎えるおおさか

維新の悩みは、国政選挙を戦うのに、党名に「おおさか」を冠している点だ。片山氏が経緯を明かす。

「昨年8月末に、『会いたい』と橋下さんに呼ばれ、『新しい党をつくりたい。大阪を上につけた党名を』と言われた。『国政政党でもあるのだから、地名でなく、維新改革の理念、シンボルを表すということ、ひらがなにしたらほうがいい』と私は言った。それで『おおさか』に」

だが、国政政党のおおさか維新が何を指すのか、疑問に思う国民は多い。大阪選挙区から出馬するおお

さか維新の浅田均政調会長（前大阪府議会議長）が主張する。

「僕は日本に必要な改革を国に先駆けて大阪でやったと自負している。改革の必要性は全国的に認知されていると思うし、改革を国全体に広げていけたらと思っています」

大阪だけでなく、全国の大都市は地方自治、国との関係、分権のあり方、地域の活性化などの点で、大都



一体、何を指すのか？



政界再編の起爆剤になれるか

市特有の課題を抱える。お
おさか維新は「大阪の改革
モデルを全国の大都市に」
と説いている。

ところが、自身の選挙区
に横浜市の一部が含まれる
旧みんなの党元代表の浅尾
慶一郎氏（衆議院議員・無
所属）は、大阪改革の「横
展開」には異を唱えた。

「横浜市をなくして神奈川
都にする構想には、ほとん
どの人が反対でしょう。大
阪都構想を持ってきて統治
機構改革といっても、それ
は望まれていない改革で
す。地域ごとに独自性を認
めるのが地方分権につながる

ると言い方ならいいと
思いますが」

もう一つの疑問は、国政
の場で政権側なのか野党側
なのか、というおおさか維
新の基本スタンスのわかり
にくさだ。馬場伸幸幹事長
が答える。

「政権・与党の案に、必要
なら賛成し、おかしければ
修正をかけ、間違っていれ
ば反対する。有権者が政党
に求めている役割はそれだ
と思う。与党と野党の間で
『ゆ党』と言われたりする
けど、与党にべったりとか
野党の側で勢ぞろいという
のは何か違う気がする」

とはいえ、橋下氏や松井
氏と安倍首相、菅義偉官房
長官との「親密な関係」は
昔も今も変わらない。

橋下氏は安倍首相とは
自民党総裁復帰前の12年前
半からの交流だ。日本維新
の会が構想した新政治勢力
の「ドリームチーム」のト
ップに安倍氏をと考え、働

きかけたことがあった。参
院選におおさか維新で出馬
する渡辺喜美氏（旧みんな
の党元代表）が証言した。

「実は頼まれたんです。橋
下さんと松井さんが安倍さ
んをヘッドに持ってきたい
と言う。12年の5月から6月
に安倍さん、菅さんと会っ
て差して話をした。だが、
二人とも『自民党の中で復
権したい』と」

以来、安倍首相・菅氏と

「9条を変えるのは反対」

安倍首相には「改憲に賛
成してくれる野党」という
期待がある。政策では是々
非々で、対案提示に積極的
なおおさか維新は、憲法に
ついて、3月26日の党大
会で改正原案を発表した。

憲法問題では、参院選で
発議要件の162議席に届
くかどうかが焦点だが、改
憲の方向性や中身につい
て、自民党とおおさか維新

橋下氏・松井氏は、地下道
で行き来できる関係を維持
してきた。橋下氏を「捨て
身で政治をやって実績を上
げた」と評価する菅氏は、
おおさか維新との関係につ
いて、こう述べた。

「私たちの政権は、政策に
賛成してくれるところはと
きちんと付き合ひ、駄目な
ところは仕方ないというの
が基本姿勢。私たちはそう
いう野党が欲しい」

の足並みがそろつかどうか
も大きなテーマだ。

おおさか維新の改憲原案
は国と地方の両方の統治機
構改革が主眼で、保育園・
幼稚園から大学までの教育
無償化（現憲法26条の改
正）、憲法裁判所の創設（同
第6章「司法」の改正）、
地域主権の実現（同第8章
「地方自治」の全面改正）
が柱である。浅田氏は「将

来的には首相公選制と道州
制と1院制をセットにした
改革が必要」と強調した。

問題は、安倍首相とおお
さか維新の憲法観が一致す
るかどうかだ。安倍首相の
改憲案が明示されないが、
ら、本心は見通せないが、
おおさか維新が唱える統治
機構改革や道州制、憲法裁
判所などは視野にないと見
られる。自民党内や霞が関

の官僚機構の抵抗が予想さ
れる事項に進んで手を染め
るとは思えない。

過去の発言などから、安
倍首相は9条の改正や緊急
事態条項の新設などを想定
していると映る。それに対
して、「必要があれば変え
る。いいところは残す」と
唱える改憲容認派の片山氏
は、「われわれは今、9条
を変えるのは反対。緊急事
態条項も現状ではいらな
いと主張している」という。
浅田氏は「もし安倍首相
と改憲案の中身のすり合わ

せをということになれば、話し合いはさせていたたく」と語るが、歩み寄りとは簡単ではない。安倍首相が数合わせを優先させれば、自民党内や霞が関の抵抗を覚悟の上で、おおさか維新の改憲案を丸のみするかどうかという場面に直面し、改憲の基本姿勢が問われそうだ。

おおさか維新の今後を占う場合、ポイントとなるのは、橋下氏の動向と党の長期国政戦略だろう。

おおさか維新の改憲案への橋下氏のかかわりについて、維新の党で憲法調査会長を務めた小沢鋭仁氏（元環境相）は「あれは全部、橋下案。憲法裁判所の創設、全教育の無償化など、いつも新しい視点を持ち出して」と解説した。

他方、片山氏は党内で重要な政策を決定する場面でも影響を及ぼす橋下氏の存在と役割を明かした。「党の大きな方針や政策を

決める戦略会議というのがありますが、必ず出席する。というよりも、橋下さんに合わせて開いている。そこで議論を主導されている。みんな決めていくわけだけど、今も一番、影響力がありますよ」

橋下氏の政界復帰について、浅田氏はこう語った。「今回はないでしょう。でも、マスメディアに戻って政治を見ていて『何やっ」とるんじゃ』と我慢できなくなるのを期待したい。た

橋下氏は現在の「引退」を、「全力疾走の後の一休み」だけでなく、自己点検と、自身に対する期待感の見きわめ、将来、国政のリーダーを担うための自己研鑽の期間と位置づけ、計画充電を中行中なのか。

参院選を控え、国民の関心は今後、おおさか維新が

だ8年間でこれだけのことをやり遂げたと満足しているところもあり、本当に戻ってこない可能性もある」

一方で、橋下氏が主導した「大阪改革」について、民進党副幹事長の馬淵澄夫氏（元国交相）は冷めた目で、こんな感想を口にしました。「彼らがやった大阪の改革は、借金があるからそれをなくすという『会社整理』。『会社再建』ではない。弁護士橋下さんはそういう発想になったのかも」

国政の場でどんな政治を目指すかという点だろう。浅田氏は「自公両党は二つとも『大きな政府』志向のグループ」と見る。長期的展望として、自民党や民進党に混在する「小さな政府」志向の人たちを糾合し、自公と並ぶ第二極をつくり上げる道を目指す考えだ。

片山氏も、「民進党は寄り合い所帯。われわれは保守だけど、その改革派として自民党、他の野党との違いを出す。今は第三極だが、将来は自民党と維新の二極による政治を」と説く。

雲芝ご愛飲の皆様へ、おトクなニュースです！

日本をはじめ、アメリカ・中国の州、国立大学でも
研究用に採用された

高品質 飛驒靈芝

よいものだからこそ長く愛飲してほしい。そう考えたから、この価格が実現しました。三十年以上にわたる科学的な研究、栽培実績の成果を結集したのが「飛驒靈芝」です。その品質は国内・海外で高く評価され、研究用靈芝として採用されています。※「飛驒靈芝」は商標です。

1kg (税別) 30,000円
500g 17,000円 (送料別)

だから長期愛飲者にこそ、自信を持ってお勧めします。

ご注文 お問合せ <http://www.daii-yakusan.co.jp/>
飛驒靈芝 第一薬産 検索

☎0120-32-0963

※ 送料・送料等ご要望に応じて
※ 開封後、7日以内は返品可(送料負担者負担)

第一薬産株式会社 〒506-0003 岐阜県高山市本町49

「橋下」復帰のシナリオは!?

おおさか維新は、「大きな政府」か「小さな政府」かを対抗軸に、政界再編を主導して政権交代可能な2大政治勢力による政党政治を、と将来像を描いているようだ。橋下氏はその構図が姿を現し始めた時点で政界に復帰し、政治のトップリーダーに躍り出るシナリオを想定しているのか。

おおさか維新の政界再編構想は、「1強多弱」を打ち破る突破口となる可能性を秘めている。だが、道は険しい。橋下氏が本気で、おおさか維新の壮大な美談を成功させる計画なら、一刻も早く充電を終えて構想実現の戦列に戻るべきだ。

国民は7月の参院選でおおさか維新の本気度を見定めようとするに違いない。その民意をきちんと受け止める、政治変革に向けて第一歩を踏み出す意識と覚悟を持たなければ、おおさか維新の挑戦も、「夏の日の夢」に終わるだろう。